

# 共生



小学校中学年以上

中学校

道徳

総合

特別活動

道徳ドキュメント 人生はチャレンジだ 15分

## 静寂のマウンド

(2006年放送)

### この番組の良さ



#### 夢に向かって努力する姿から学ぶ

石井裕也選手(当時、中日ドラゴンズ・2012年4月現在、日本ハムファイターズ)は、先天性の難聴で、右耳しかわずかに聞こえない、という障害を持ちながらも、小さいときから大好きな野球に打ち込み、「プロ野球選手になりたい」という夢をかなえます。

プロ野球選手になったものの、二軍落ちという挫折を経験し、悔しい思いを味わいました。しかし、そこであきらめずに努力を続け、一軍復帰を果たします。石井選手の姿からあきらめない姿勢と努力の大切さを学ぶことができます。

#### 障害を乗り越えて

石井選手はここ一番の時に投球に集中するために、自ら補聴器のスイッチを切って投げます。難聴という自らのハンデを、逆にプレーに生かして努力し投球する姿は、健常者の障害者に対する意識や考え方についても改めて考えさせてくれます。

### 番組活用のポイント

#### 高い目標を立て、くじけないで努力するために

この番組は道徳の授業、特に5・6年生「主として自分自身に関すること」1-(2)「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する」に関連させて指導すると効果的です。

小学校高学年は、児童が高い理想を追い求め、より具体的に自分の将来や夢について考え始める時期です。その時期に様々な職業で活躍し成功されている方のお話や体験談を聞くことは、自分の生活や将来の目標設定に大きく影響を与えるきっかけになります。しかしそのような場を提供できる学校は多くはありません。そこで、『道徳ドキュメント 人生はチャレンジだ 静寂のマウンド』の活用をお勧めします。

番組では、障害を持ちながらも小さい頃から自分の夢を持ち、努力をしてきた石井選手の生き様を感じとらせることにより、夢を持ち努力をすることの大切さを意識させることができます。また、より高い目標を立てて困難や失敗にくじけずに努力しようとする意欲を育てることができます。

#### キャリア教育や他の番組と関連させて

総合的な学習の時間の目標には「自己の生き方を考えることができるようにする」と明記されていることから、キャリア教育の一環として、職業見学や職場体験などを実施する学校も増えていきます。家庭や地域などの様々な人との関わりの中で体験した活動を通して職業観、勤労観を養うことは「生き方」について考える良いきっかけとなります。石井選手の努力する姿や生き方は、このようなキャリア教育にも関連させることができます。また、キャリア教育の学習を深めたいときは、ティーチャーズ・ライブラリーの関連番組である『道徳ドキュメント 自分の仕事を見つけるまで』(P.46)や2011年度版のガイドブックで紹介されているキャリア教育の番組、また『あしたをつかめ』セレクションなどが活用できます。

(甲斐 崇)

学習展開例

授業時間 45分

# 夢や目標に向かって、 あきらめずに努力しよう！



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①自分の夢や目標について話し合う。	○他の教科で学んだことや諸活動での体験を関連づけながら、自分がふだんどのような努力をしているか振り返らせたい。
20分	②番組視聴しながら考える。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれたときから重い難聴で、わずかに聞こえる右耳に補聴器をつけていた石井選手</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢はプロ野球選手になることだと書いた小学校の文集</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・中日ドラゴンズに指名されてプロ野球の世界に入る夢をかなえた石井選手</li> </ul>	○視聴に集中させるためメモはとらない。 ○開始から1分19秒で一時停止する。難聴＝耳が聞こえないことで困ること、大変なことがどんなことが考えさせて視聴に入るようにする。 ○補足情報として、これが2006年放送の番組であること、現在石井選手は違う球団に所属していることなども伝えたい。 ○プロ入りするまで（8分51秒）で、ナレーションが入る前に一時停止し、石井選手が小さい時にどのようなことを考えて練習していたのか振り返らせる。 ○石井選手の言葉「成せば成る」をもとにプロ入りした時の石井選手の気持ちも考えさせたい。 ○プロ入り後の初登板でいきなりホームランを打たれた場面、二軍落ちを言い渡される場面では一時停止をして、石井選手の気持ちを考えさせ、共感できるようにする。 ○1軍復帰後、初先発初勝利をする場面から最後にかけては一時停止をせずに連続視聴し、感動が途切れないようにする。 ○番組最後のナレーション「皆さんの夢は何ですか？その夢にむかって挑戦し続けているのでしょうか？」を聞いた後、しばらく静かに考えさせる時間を確保したい。
5分	③番組後半の感想を交流する。 初登板でホームランを打たれた時や、二軍落ちを言い渡された時の石井選手の気持ちを考える。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・二軍落ちを言い渡されたときに、一人で涙を流したロッカールームの様子</li> </ul> 1軍復帰後、初先発初勝利をしたときの気持ちを考える。	○クラスの状況に応じて、ここでの質問を番組視聴時に一時停止しながら行なってもよい。 ○辛い気持ちや苦しい気持ちを共有させるだけでなく、つらいときや苦しいときに、石井選手がそれをどう乗り越えようとしたかを考えさせたい。
5分	④石井選手の素晴らしいところを明らかにし、その生き方から自分が学んだことを考える。	○挫折や苦しい経験をしてあきらめずに努力してきたことや、難聴というハンデをプレーに生かして結果を残してきたことなどを改めてとらえさせたい。
10分	⑤自分の夢や目標に向かって、これからどんな努力をしていきたいか考える。	○石井選手の生き方から自分の生き方に生かしていきたいことを考えさせ、具体的に夢や現在の目標に向かって、いま自分ができていることを考えさせたい。 ○お互いの意見を交流し、これからの意欲につなげたい。